

保存版

加治川地区福祉活動計画

# 住みやすい\*桜の里\*加治川 ～ 声かけ 気づかい 助け合い ～



写真提供：板垣 一寿 氏

加治川地区福祉懇談会・加治川地域振興協議会

新発田市・社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

# ごあいさつ



この度、新発田市と新発田市社会福祉協議会のご協力により、加治川地区の「地区福祉活動計画」を策定させていただきました。

当地区は、東に日本一小さい「櫛形山脈」が存立し、南に飯豊連峰を源流とする「加治川」が流れ、そして「塩津潟」が干拓・整備された水田平野が一面に広がる、自然豊かな田園地帯です。

この計画策定に当たり、福祉懇談会や編集委員会に各自治会・町内会の会長や役員、さまざまな地域組織の方々など多くの地域住民の皆様からご協力いただき、あらためて御礼申し上げます。

昨年の10月から福祉懇談会を3回実施し、グループでの討議を中心に話し合いを重ねるごとに、愛する加治川の将来は、やはり地域住民が主体となって考え、お互いに助け合える関係を築く事が大切であると感じております。

少子高齢化や人口減少、空き家の増加、担い手不足等の地域課題をあらためて認識し、加治川地区のこれからの地域像を共有するなど地域としての連帯感も生まれました。

また、これらを共通の地域課題としてとらえ、地域で取り組むこと、一人ひとりが自ら取り組むこと、関係機関と連携して取り組むこと等、具体的な意見やアイデアが数多く出されました。

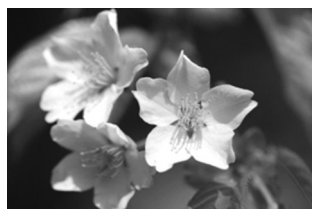
この福祉活動計画を地域の皆様にご覧いただくとともに、これを機会として共に議論を深め、実践につなげていければと願うところです。

平成29年3月

加治川地域振興協議会 会長 竹内 敬一

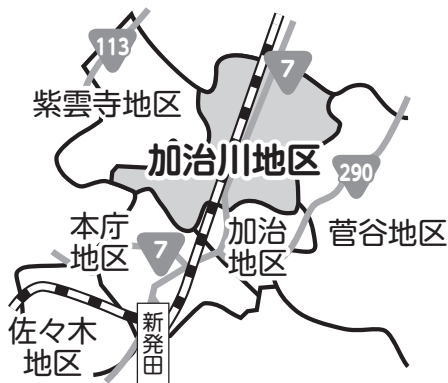
# 目 次

1	地域伝言板	
	(1) 加治川地区の特徴	1
	(2) 加治川地区の学校の歴史	1
	(3) 加治川地区の紹介	3
2	計画の概要	
	(1) 加治川地区福祉活動計画とは	5
	(2) 加治川地区福祉活動計画の目的	5
	(3) 加治川地区福祉活動計画の推進に向けて	5
	(4) 加治川地区福祉活動計画づくりの意義	6
3	地域の魅力と現状	
	(1) 地域の魅力について	7
	(2) 地域の現状について	7
4	福祉活動計画	
	(1) 基本理念（スローガン）	8
	(2) 基本目標	8
	(3) 計画の実現に向けて	9
5	策定方法	
	(1) 加治川地区福祉活動計画策定団体等	11
	(2) 加治川地区福祉活動計画策定経過	12
	(3) 加治川地区福祉懇談会で出された意見	13
6	参考資料	
	「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系	19
	加治川地区福祉懇談会回覧	21



# 1 地域伝言板

## 肥沃な穀倉地帯と日本一小さい櫛形山脈をもつ桜の里…加治川地区！



加治川村は、山手地帯と江戸時代中期の紫雲寺潟干拓により形成された42ヵ村から集落形成が始まり、干拓事業により開発造成された新田により米作物を基幹とした農村として発展してきました。

明治22年の市町村施行により、金塚村、加治村、堀切村、上館村、泉村、中川村の6村が誕生しました。明治34年11月1日に加治村、上館村、泉村、中川村が合併して新しい加治村が誕生し、明治36年11月1日に金塚村と堀切村が合併し、新しい金塚村が誕生しました。

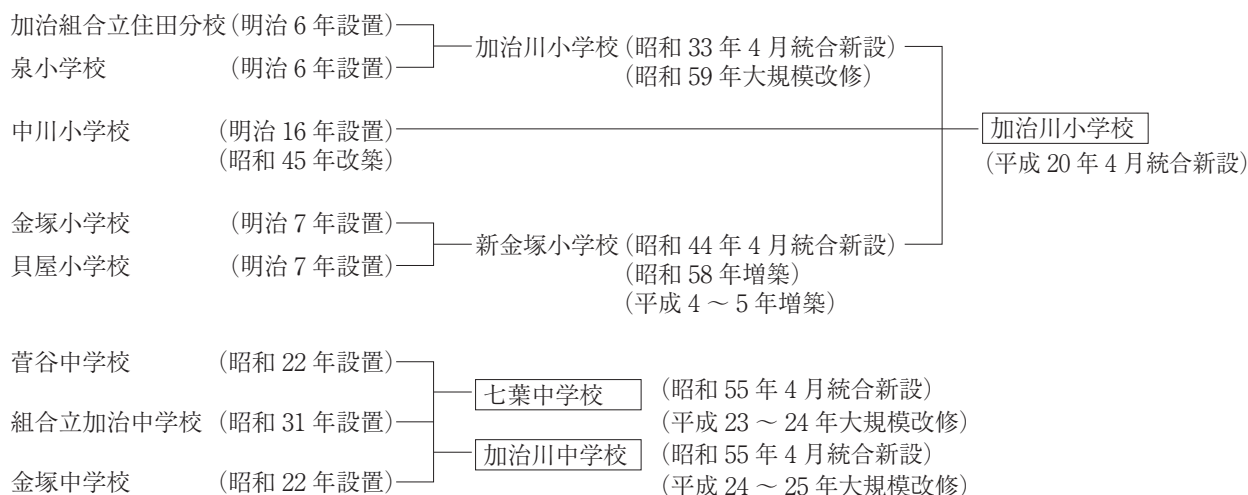
さらに昭和30年7月20日に金塚村と加治村が合併し、加治川村が誕生しました。同年10月20日に中条町と、昭和31年には新発田市と、また平成2年には紫雲寺町と一部境界変更を行いました。そして、平成17年に加治川村と新発田市が合併して加治川地区は新発田市となりました。

### (1) 加治川地区の特徴

加治川地区は、新発田市の北に位置し、加治川という市内で最も大きな川を持ち、食物もおいしい自然豊かな地域です。また、加治川地区といえば『桜』が非常に有名です。特に昔の加治川地区の桜づつみは、大正天皇が即位した記念に植えたものであり、昔は『日本三大桜』とされていました。加治川地区の学校の校章に桜が使われることが多いのも大いに納得できます。

### (2) 加治川地区の学校の歴史

加治川地区の学校の歴史には多くの変革がありました。以下のように様々な統合や改称などを経て、現在の加治川小学校と加治川中学校となりました。



## 加治川地区の学校

### 加治川中学校



### 加治川中学校校歌

作詞 本間 吉郎  
作曲 鍋谷 毅

- 一、ふるさとよ ここは北国  
 楡形の山脈(やまなみ) 白く  
 父祖の地(つち) 長き歴史や  
 踏み立ちて ともに学ばむ  
 ああ 加治川中学校  
 ころざし 勤(つよ)く 高く  
 未来いま われらにあかし
- 二、ゆたけさよ ここは蒲原  
 加治川の 流れ光(かがや) き  
 みのり満ち 馨(かぐわ) しき野や  
 声呼びて ともに励まむ  
 ああ 加治川中学校  
 あこがれの 深く 清く  
 自由いま われらにひとし
- 三、若き日よ 仰ぐ大峯(おおみね)  
 朝に夕(よ)に いのち培(つちか) い  
 届けゆく 希望(のぞみ)の郷(さと)や  
 熱燃えて ともに鍛えむ  
 ああ 加治川中学校  
 まごころの 厚く 固く  
 創意いま われらにかかる

## 統合前の小学校

### 加治川小学校



### 加治川小学校校歌

作詞 波多野 傳八郎  
作曲 波多野 修吾

- 一、朝日飯雪の雪に映え  
 ひかりかがよう日本海  
 みのりの沃野ひろびろと  
 開けて古きわがさとよ
- 二、人の和ありて村栄え  
 やさしき愛に結ばれし  
 学び舎ここにそぞり立ち  
 いつも吾等を見守れり
- 三、世紀を開くたくまじき  
 若き力をはぐくみて  
 彼方の光仰ぎつつ  
 たゆまず学ぶ吾等なり
- 四、父祖の築けるすぐれたる  
 歴史のあとをうけつぎて  
 世界に誇る創造の  
 花を咲かせんいさともに  
 吾等は学ぶよとすじに  
 伸びゆけ栄えよ加治川校

### 新金塚小学校



### 新金塚小学校校歌

作詞 谷沢 龍史  
作曲 小杉 誠治

- 一、大峰山に咲き匂う 桜の花のけだかさよ  
 新金塚の学び舎に 理想の雲は高く翔ぶ  
 ああ われらさわやかに  
 世紀の朝をはつらつと  
 若い生命でもえようよ
- 二、山の緑に風かおる 小鳥の声の楽しさよ  
 強く明るく進む子に 希望の虹が湧き上がる  
 ああ われらほがらかに  
 友情の花とりかざし  
 玉の心を磨こうよ
- 三、黄金の穂波照り映える 加治川村の豊かさよ  
 白く輝く殿堂は 誇りも高くそびえ立つ  
 ああ われらすこやかに  
 正しく学び身をきたえ  
 明日の郷土をきざこうよ

### 中川小学校



### 中川小学校校歌

作詞 相馬 御風  
作曲 井上 武士

- 一、北風すさび 雪つもる  
 冬にもまけず 年どしに  
 花うるわしき 加治川の  
 桜ぞ吾等が 鑑みなる
- 二、みのりの秋の 豊かさ  
 わざの励みの 貴さを  
 心に深く 思いつつ  
 学びいそむ 吾等なり
- 三、明徳の二字 名に負ひし  
 歴史輝く まなびやの  
 誉れとうとみ いぎ共に  
 正しき道をば 修めばや

## 2008年4月に統合して 加治川小学校に!!



### 加治川小学校校歌

作詞 本間 吉郎  
作曲 俵山 英男

- 一、加治川に 春陽(はるび) 輝き  
 桜咲く この地 清(すが) しも  
 師の教え 心に持ちて  
 友の手の 温(ぬく)み忘れず  
 思いやり 深く励もう  
 我らが未来 高らかに
- 二、大峰(おおみね)に秋陽(あきび) あまねく  
 稲実る この地 豊かや  
 愛恵む 大地を踏んで  
 明日(あした)への 望み忘れず  
 志(こころざし) 高く学ぼう  
 我らが未来 どこまでも  
 限りなく 夢はふくらむ  
 加治川小 ああ 我が母校



**(3) 加治川地区の紹介**



椽平 (とちだいら) 桜樹林

大峰山国有林内に自生する桜の樹林帯「椽平桜樹林」は、大山桜をはじめ約 40 種類と品種が多く大変珍しいことから、昭和 9 年に国の天然記念物に指定されました。自然交配で増えたヤマザクラがおおよそ 1000 本も群生しています。



大峰山

日本一小さい山脈・櫛形山脈の中心に位置している標高 399.5 m の大峰山は、櫛形山系ハイキングコースの要として利用者も多く、厳冬期のトレッキングも可能で、四季を通じてハイカーに親しまれています。

I LOVE 加治川



桜公園

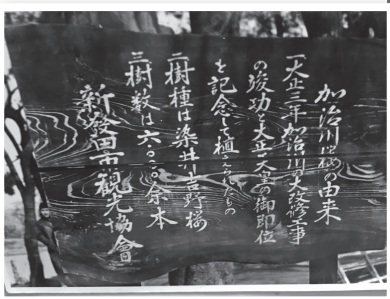
桜の種類の数では、東日本一の規模を誇る桜公園で、100 種類以上の桜がおおよそ 300 本も色付きます。



桜づつみ

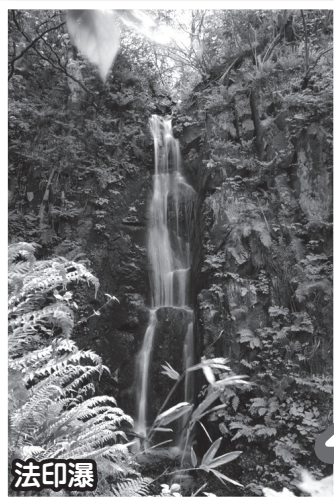
大正 4 年に大正天皇即位を記念して植えられた桜づつみは、当時『日本三大桜』とされていました。桜の時期になると、国鉄が桜づつみの土手前で臨時駐車場を設け、全国の観光客がそこで下車して花見をできるようにしていたほど、加治川の桜づつみは日本有数の観桜スポットだったそうです。

これは、別名『十里の桜』ともいわれ、加治川から紫雲寺の水門まで続く長い長い桜道でした。昭和 41 年の連続大水害で崩壊して以来、多くの人達から桜づつみの復元を希望する声上がり、平成元年国の桜づつみモデル事業に選定されました。側帯堤の整備や染井吉野の桜約 260 本植栽など復元にむけた整備がされています。



当時はこんな看板が立てられていました♪

資料：道の駅 加治川



法印瀑

櫛形山脈の主峰、櫛形山直下の源流の大きな滝です。修行の場として伝えられる法印瀑は、落差6～7mの滝で夏でも涸れることなく、大瀑とともに櫛形山の伏流水が一の沢・貝屋川を経て蒲原平野へ流れています。

大天城公園に隣接する住田地区では『住田地域ホタル保護研究会』が中心となり、ホタルの繁殖や保護を目的としたビオトープの管理、ホタルの幼虫の餌となるカワニナの放流、観察などホタルに関係する様々な活動を行っています。大天城公園付近の『ほたる舞道（マイロード）』では、夏に多くのホタルを見ることができます。



大峰山山麓のホタル

＼ 実はフランス生まれなんです！ ／



モニュメント「無限の大地」

北緯38度線の通過地点にフランスで採掘・作成した重量38トンのモニュメント「無限の大地」が設置されており、加治川の大地に地球を乗せ宇宙と自然、それに人間の調和を表現し、世界平和の願いが込められています。資料：道の駅 加治川

＼ 皆さん知っていましたか？ ／

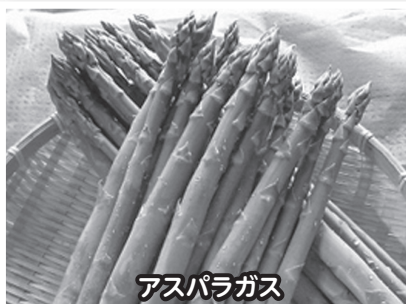


稲にも“花”があるんです！

＼ 加治川の元気の源はおいしい食べ物！ ／



大峰かおり



アスパラガス



加治川産コシヒカリ



オータムポエム



トマト



きゅうり

加治川の野菜はやっぱり最高だね！



資料：道の駅 加治川



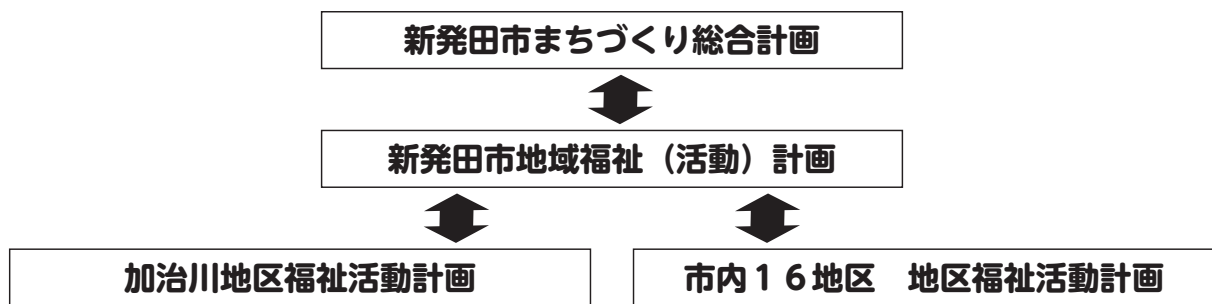
## 2 計画の概要

### (1) 加治川地区福祉活動計画とは

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民が自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、目指すべき将来都市像を「住みよいまち日本一健康田園文化都市・しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉（活動）計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関が相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指しています。

「加治川地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域みんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉（活動）計画」に基づいた計画です。



※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

### (2) 加治川地区福祉活動計画の目的

加治川地区に対する想いを語り合うことを通して、「地域の現状や課題」、「地域でできること」、「自分でできること」、「こうなったらいいな」などを一緒に考え住民主体の地域福祉づくりを市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などと連携して進めていきます。高齢者や障がい者など支援の必要な市民が地域（加治川地区）で安心して生活できる“共生社会”の実現をみんなで目指します。

### (3) 加治川地区福祉活動計画の推進に向けて

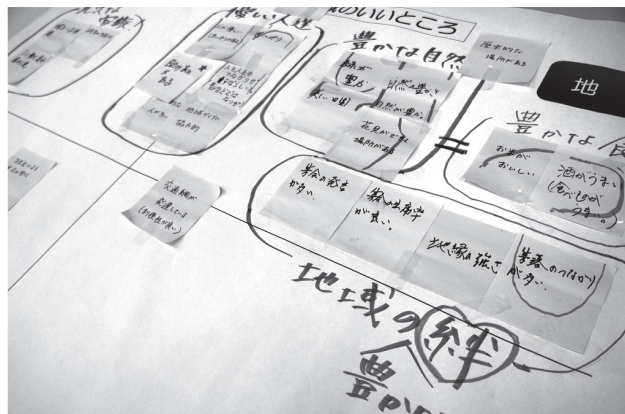
計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しましょう。その上で、加治川地区の中長期的な目標として位置づけ、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが連携して取組を進めていくことが重要です。

## (4) 加治川地区福祉活動計画づくりの意義

### 加治川地区福祉活動計画を地域の人々で作ることで

- ①地域の課題や目標を関係者で共有し、同じ方向を向いて協働することができます。
- ②計画を公表することで、地域の福祉活動について、広く地域住民の理解と協力が得られます。
- ③中長期的な見通しを持って、段階的・継続的に取り組んでいくことができます。
- ④活動の優先順位や重点がはっきりします。
- ⑤活動がうまく展開されてきたか振り返り、次の課題を明らかにすることができます。
- ⑥計画づくりの過程で人が育ち、地域の関係者の連帯も強くなります。

# みんなで作る加治川地区福祉活動計画





## 3 地域の魅力と現状

### 加治川地区福祉懇談会で見てきた地域の魅力と現状

加治川地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域においていきいきとした生活を送ることは加治川地区住民のみんなの願いです。

この願いの実現に向けて、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが協働しながら、みんなで加治川地区福祉活動計画を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成28年10月～平成28年12月まで3回にわたり福祉懇談会を開催し、地域の現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いをまとめました。

#### (1) 地域の魅力について

##### ① つながりについて

- ・ あいさつが良い
- ・ 隣近所のつながりがある
- ・ 住民が優しく助け合いの心がある
- ・ 地域の集まりや行事に協力的である

##### ② 地域活動について

- ・ 地域の事業が活発である
- ・ 民生委員活動や老人クラブ活動が活発である

##### ③ 歴史や文化について

- ・ 遺跡など歴史的な場所がある
- ・ 加治川の桜並木や大峰山がある

##### ④ 地域性について

- ・ 山や川など自然が豊かである
- ・ 自然を大切にしている
- ・ 利便性が良い
- ・ 子どもが明るく素直である
- ・ 協力的な人が多い
- ・ 地縁が強い

#### (2) 地域の現状について

##### ① つながりについて

- ・ 近所づきあいが少なくなっている
- ・ 若い世代との絆が希薄になっている

##### ② 地域について

- ・ 獣被害がある
- ・ 環境美化の意識が低い人がいる（地域内外）
- ・ ボランティアなどが少ない
- ・ 用水路や夜道など危険箇所がある

##### ③ 生活について

- ・ 外で遊んでいる子どもが少ない
- ・ 高齢者などの集まる場所がない
- ・ 一人暮らしの高齢者などが買物や通院に困っている

##### ④ 後継者不足について

- ・ 少子高齢化が進んでいる
- ・ 未婚者が増えている
- ・ 空き家や空き地が多い
- ・ 若者や後継者が少ない
- ・ 後継者を育てる取組が少ない



## 4 福祉活動計画

### 加治川地区福祉活動計画

#### (1) 基本理念（スローガン）

加治川地区に住む住民一人ひとりが地域活動に積極的に関わり、お互いが個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができることを目指していくことが大切です。こうしたことから次のとおり計画の基本理念を定めました。

住みやすい  桜の里  加治川  
～声かけ 気づかい 助け合い～



#### (2) 基本目標

福祉懇談会で話し合われた地域の現状や福祉課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

基本目標 1	助け合い支え合ってつながる地域
基本目標 2	連携の強化による安心・安全な地域
基本目標 3	豊かな自然を育み共生する地域
基本目標 4	伝統的な行事を守り伝える地域
基本目標 5	子ども・若者が輝く地域



### (3) 計画の実現に向けて

福祉懇談会では  
**目標達成の具体的な取組の例** → **自分達でどんなことができるのか**  
 アイデアを出し合いました。



◆基本目標 = こんな地域であつたらいいな

◆実施項目 = 私たちにできること（取組の例）

#### 基本目標 1 助け合い支え合ってつながる地域

目 標		実施項目（取組の例）
1	やさしさと思いやりが集う里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰とでもあいさつをする</li> <li>・多世代が集う楽しい居場所づくりを行う</li> <li>・各世代が楽しく学ぶ健康づくりを行う</li> <li>・生きがいづくりを行う</li> <li>・ボランティア活動への参加を呼び掛ける</li> <li>・回覧板を回す時は声をかける</li> <li>・隣近所に声をかける</li> <li>・小さな変化に気づく見守りを行う</li> <li>・高齢者への見守り、声かけを行う</li> <li>・できることをする（ゴミ拾いなど一日一善を目標に）</li> </ul>
2	誰もが活躍できる里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が働ける場所をつくる</li> <li>・個々人の能力を引き出し活用を図る</li> <li>・みんなが行事に参加するように工夫する</li> </ul>

#### 基本目標 2 連携の強化による安心・安全な地域

目 標		実施項目（取組の例）
1	安心・安全な里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣近所に声かけをする</li> <li>・避難場所の経路の再確認をする</li> <li>・ペット、ゴミ出し等のマナーを守る</li> <li>・つながり、行事、交流などを大切にする</li> <li>・高齢者などに対し、見守り活動をする</li> <li>・交通安全や防犯、防災を強化する活動を行う</li> <li>・空き家活用（集いの場）を検討する</li> <li>・全自治会で防災活動の取り組みを進める</li> <li>・災害の教訓を語り継ぐ</li> </ul>
2	地域と行政が連携した里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンドタクシーやコミュニティバスを検討する</li> <li>・移動販売や道の駅の野菜直売などをPR・活用する</li> <li>・地域の課題などを把握し、関係機関と連携して対応する</li> </ul>

### 基本目標3 豊かな自然を育み共生する地域

目 標		実施項目（取組の例）
1	自然と共生した里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元の資源に誇りを持つ</li> <li>・ 米や野菜などを特産物としてPRする</li> <li>・ 山の自然や山桜などの観光スポットを広める</li> </ul>
2	豊かな自然をつなぐ里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリーン作戦を行う</li> <li>・ 小川などの環境整備を行う</li> <li>・ 自然環境に配慮した生活や里山の整備を行う</li> </ul>

### 基本目標4 伝統的な行事を守り伝える地域

目 標		実施項目（取組の例）
1	伝統的な行事を守り伝える里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんど焼き、しめ縄作り、祭り、盆踊りなどの行事を継続する</li> <li>・ 歴史にふれる機会をつくり、伝統を学びながら世代を超えてコミュニケーションを図る</li> </ul>

### 基本目標5 子ども・若者が輝く地域

目 標		実施項目（取組の例）
1	子ども・若者が輝く里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に子ども達に関わる</li> <li>・ 子ども主体の行事を計画する</li> <li>・ 保育園、幼稚園、小学校、中学校の行事に参加する</li> <li>・ 次世代の人材を育てる</li> </ul>
2	絆と交流を深める里づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣近所との交流を図り、絆を深める</li> <li>・ 地域の行事を活発にして、子どもや若者との関わりを深める</li> <li>・ 子ども達の遊び場づくりを行う</li> <li>・ 子ども達を見守り、地域全体で育む</li> <li>・ 若者との関係づくりを大切にする</li> <li>・ さまざまな勉強会を開催して参加する</li> </ul>

できることから  
一歩ずつ始めましょう♪





## 5 策定方法

### (1) 加治川地区福祉活動計画策定団体等

加治川地区福祉活動計画は、加治川地域振興協議会を中心に自治会の代表者、民生委員児童委員・主任児童委員、保健自治会、新発田地区交通安全協会加治川支部、加治川地区青少年健全育成協議会、加治川地区自主防災組織連絡協議会、新発田北地域包括支援センターなどの人達が福祉懇談会を開催し、地域の現状及び課題を把握して、基本目標、具体的な取組事例として策定しました。

#### ●加治川地区

1	下山田	23	高山寺
2	住田自治会	24	上草荷自治会
3	箱岩区	25	下草荷
4	平山	26	境
5	上横岡	27	寺尾自治会
6	西浦下西山	28	金山
7	下横岡自治会	29	貝塚自治会
8	下中区	30	下小中山
9	上今泉自治会	31	下坂町
10	関妻区	32	貝屋
11	大字川口	33	小国谷
12	稲荷野中自治会	34	相馬
13	吉田自治会	35	中俵自治会
14	塚田自治会	36	上金塚
15	古楯自治会	37	下金塚
16	小島自治会	38	岡島
17	湖南	39	金塚駅前区
18	向中条自治会	40	戸野港
19	押廻	41	大野
20	川尻区	42	光陽
21	古川	43	桜ヶ丘
22	二本木釜杭	44	朝日団地自治会

- 加治川地域振興協議会
- 自治会の代表者
- 民生委員児童委員
- 主任児童委員
- 保健自治会
- 新発田地区交通安全協会加治川支部
- 加治川地区青少年健全育成協議会
- 加治川地区自主防災組織連絡協議会
- 新発田北地域包括支援センター  
(加治川地区担当)



## (2) 加治川地区福祉活動計画策定経過

年月日	会議等	内 容
平成 28 年 5 月 25 日	打合せ (加治川支所)	・地域福祉懇談会について 加治川地域振興協議会役員と事前打合せ (参加者 23 名)
平成 28 年 8 月 25 日	加治川地域振興協議会 (加治川支所)	・加治川地区福祉活動計画について説明 (参加者 19 名)
平成 28 年 9 月 23 日	第 1 回 加治川地区福祉懇談会開催案内 回覧	
平成 28 年 10 月 28 日	第 1 回加治川地区福祉懇談会  (加治川支所)	・「加治川地区福祉活動計画」勉強会 ・グループワーク 1 ①私たちの地域のいいところ ②身近なところで困っていること ③こんな地域であつたらいいな ④私たちにできること ・グループ発表 (参加者 46 名)
平成 28 年 11 月 15 日	第 1 回 加治川地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成 28 年 11 月 25 日	第 2 回加治川地区福祉懇談会  (加治川支所)	・グループワーク 2 前回の振り返り及びまとめ 地区の現状と課題の整理 計画の基本目標の検討 ・グループ発表 (参加者 46 名)
平成 28 年 12 月 15 日	第 2 回 加治川地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成 28 年 12 月 16 日	第 3 回加治川地区福祉懇談会  (加治川支所)	・グループワーク 3 前回の振り返り及びまとめ 基本目標の検討 スローガンの検討 ・グループ発表 (参加者 39 名)
平成 29 年 1 月 19 日	第 3 回 加治川地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成 29 年 1 月 25 日	第 1 回編集委員会  (加治川支所)	・加治川地区福祉活動計画の基本理念、基本目標などの検討 (参加者 17 名)
平成 29 年 2 月 7 日	第 2 回編集委員会  (加治川支所)	・加治川地区福祉活動計画の目標に向けた実施項目などの検討 (参加者 18 名)
平成 29 年 3 月 14 日	第 3 回編集委員会 (加治川支所)	・加治川地区福祉活動計画(案)修正・確認等 (参加者 16 名)
平成 29 年 3 月	・加治川地区福祉活動計画完成	



### (3) 加治川地区福祉懇談会で出された意見

グループに分かれて、地域の現状や課題を共有し、地域の皆さんで支え合いの知恵を出し合いました。

懇談会で皆さんが話し合われた意見をご紹介します。(グループごとに掲載しています)

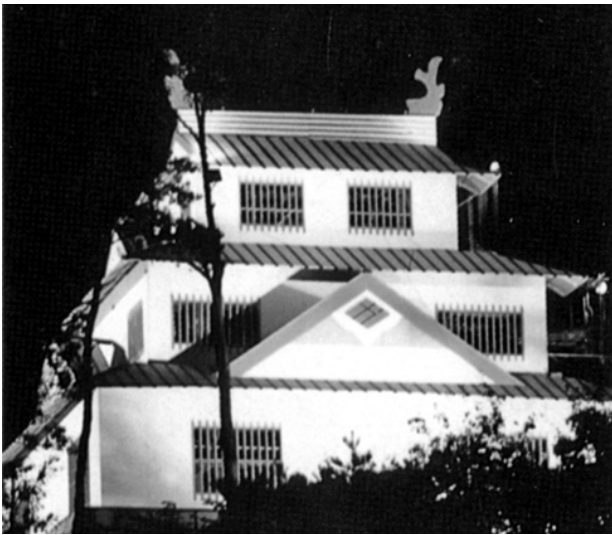
#### 1 私たちの地域のいいところ

- ・ 公民館が行事に前向き
- ・ 仲間がやさしい
- ・ みなさんが畑を手伝ってくれる
- ・ あいさつが良い
- ・ 食べ物がおいしい
- ・ 自然が豊かで空気が美味しいです
- ・ 山や川があり自然が豊か
- ・ 水が豊か
- ・ 緑が多い
- ・ 豊かな田園と山なみ
- ・ 自然が豊かでニホンカモシカも出るよ！
- ・ 隣近所できちんとあいさつできるし、いざという時は助け合うことが出来ると思う
- ・ 山桜の里だよ！
- ・ 桜を大切にしている地域
- ・ 小中学生の朝夕の元気なあいさつに元気づけられる
- ・ 幹線のJRと国道がある
- ・ 地域住民同士の争いがない
- ・ 概して人がやさしい
- ・ ほとんどの人が顔見知り
- ・ 小集落なので、いつでも声をかけられる
- ・ 歴史ある集落がある
- ・ 敬老会は、隣集落と一緒に参加者も多く、楽しく過ごせる場である
- ・ 高齢者が大変元気である



- ・ 高齢者を1ヶ月に1回お風呂に連れていく
- ・ 遺跡がある
- ・ 交通網が発達している (利便性が良い)
- ・ 協力的な人が多い
- ・ 地域づくりに協力的
- ・ 歴史的な場所がある
- ・ 人がやさしい (思いやりがある)
- ・ 集落のつながりが多い
- ・ 昔ほどではないが、人と人とのつながりがすばらしい
- ・ 地縁の強さ
- ・ 子ども会による火の用心
- ・ 明るい子ども達
- ・ 子ども達が多数いる
- ・ 集落の戸数が減らない
- ・ よく働く高齢者の人達
- ・ お米がおいしい
- ・ 美しい田園





- ・自然が豊か
- ・花見ができる場所がある
- ・緑が豊か
- ・酒や食べ物がうまい
- ・集会の出席率が多い
- ・集会の発言が多い
- ・助け合いがある
- ・子ども会の父母の皆さんの仲が良い
- ・春になると、地域の人達との花見が楽しい
- ・地域で30年間運動会が続いたが、現在は夏祭りを行っている
- ・1月はどんど焼きをして、地区住民一同になって楽しむ（他地区より来る）
- ・人と人とのつながりが深いと思う
- ・集落では子ども会の活動が活発で、絆がある
- ・JRや国道7号線があり便利である
- ・公共施設が集中しており、利便性が良い
- ・集落に祭り、みこしが出ている
- ・集落のまつりには子ども達が多く参加している
- ・祭りの他に、盆踊りや芋煮会などの楽しい行事がある
- ・地区のお米は、加治川米として喜ばれている
- ・子どもが素直
- ・子ども達からあいさつが良く聞こえる
- ・生き物博士がいる
- ・広い農村公園があり、少しは活気がある
- ・集落に深い歴史がある
- ・加治川の桜並木がある
- ・市内へは車で5～7分で中心に行ける（買い物、学校、病院が近くて便利）
- ・自治会のメンバーが良い
- ・集落の子ども達に注意をはらって見守っている
- ・最期まで畑仕事しているピンピンコロリ
- ・ごみを拾い始めたら、何人も拾ってくれる人がいる
- ・桜公園に多数の人が来てくれる
- ・声をかけあって明るい
- ・小中学校のあいさつ運動が最高
- ・突然の訪問予約でも、あたたかく受け入れてくれる
- ・毎年8月13日の盆踊り（保存会）を親戚、兄弟が楽しむ
- ・大峰山は中世の山城
- ・民生委員さんの“地域のために”と言った意識が高い
- ・自治会との対話が良好
- ・小中学校の校長や教頭と気軽に懇談会ができて、子ども達とのつながりが良い
- ・大峰山の登山者は、真冬でも来る人が増えている
- ・子ども達のあいさつが良い
- ・老人クラブ活動が活発である
- ・盆踊りが存続している
- ・バーベキューに約100人の参加がある
- ・地域の集まりに意欲的な人が多い
- ・集落の行事に協力的である
- ・農家組合がある（コミュニティ）
- ・近所同士で仲が良い
- ・組ごとまとまりが良い
- ・近隣との関わりがある
- ・コンビニが近くにある
- ・消雪道路がある
- ・道路が少ないため、静かでいい所
- ・加治川の桜堤が近くにある
- ・あいさつ運動が良い
- ・「お晩になりました」と言ってくれる子どもがいる





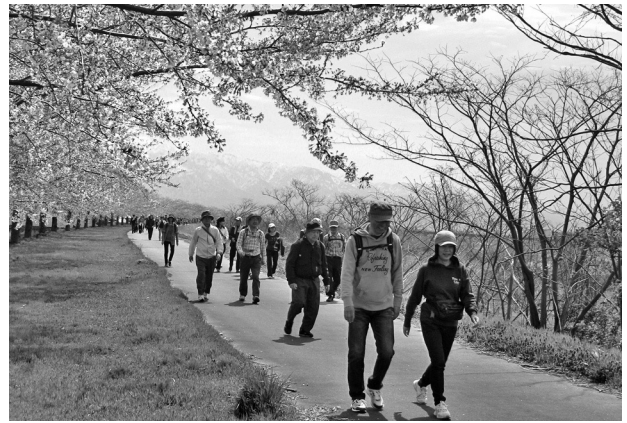
## 2 身近なところで困っていること

- ・空き地が多く、草が伸び放題
- ・学校までの距離がありすぎる
- ・若者との絆が少ない
- ・若者が少ない
- ・空き家が荒れ放題になっている
- ・日中、人が少ない
- ・役員のなり手が少ない
- ・空き家が増えて幽霊屋敷になっており、汚く不用心
- ・役員等のなり手が少なく、1人が多くの役を抱えている
- ・公共交通機関の網の目不足
- ・コミュニティが薄くなりつつある
- ・身近に買物できるスーパーがない
- ・買物に困っている高齢者あり
- ・地域に獣被害がある（猿、猪、ハクビシン）
- ・一人世帯が増えつつある
- ・二人暮らしの高齢者世帯が気になる
- ・認知症が増えている
- ・個人情報のため障がい者の把握ができない
- ・後継者が育てる取組が必要（人材育成）
- ・次の後継者がいない
- ・高齢者が交通弱者になっていて困っている
- ・空き家が増加し、目立ってきている
- ・近所付き合いが少なくなっている
- ・通院、買物が不便
- ・公共交通が無い
- ・交通手段のない高齢者が買い物や通院に困っている
- ・若者がいない（継続性が心配）
- ・子どもが少なく将来が不安
- ・子どもがいない
- ・一人暮らしや高齢者世帯が増えている
- ・一人暮らしや二人暮らしが増えてきている
- ・独身の若者が多い
- ・集落費が高い
- ・山林の荒廃
- ・収入面の不足や自給自足ができなくなっている
- ・引きこもりの方が多い
- ・猿や熊との生活域が重なる
- ・買物難民
- ・未婚者が多く地域の展望が心配
- ・集落に団体があるが、入会する人がいない
- ・消防団員に入る者がいない
- ・検討すべき地域の古い慣習がある
- ・小学校の通学が大変である
- ・学区が違い、子ども同士の遊びがない
- ・若い後継者が地域を出て行き、老いた親だけになる
- ・外で遊んでいる子どもが少ない
- ・集落センターが老朽化（40年）しており、4年前くらいから積み立てをしているが大変である
- ・空き家対策
- ・米が安い
- ・空き家を整理してもらいたい
- ・高齢者でごみの処理が出来ない人がいる
- ・集落内の用水路が夜間の雨降り時、縁が見えないので危険である
- ・環境意識が少ない
- ・年金のくらしが大変
- ・区長さんが1年で交代されるので、なかなかつながりが持てない
- ・酒の安売りで小売業は困っている
- ・人と人とのつながりが弱いと思う
- ・羽越災害から50年以上が過ぎ、構造物が老朽化しているので、行政全体で考えて欲しい
- ・車がないと、とても不便である
- ・お年寄りが多い
- ・道路に空き缶やスーパーの袋が捨てられている
- ・ボランティア活動が少ない
- ・引きこもりの方の情報がない
- ・地域の橋に歩道と地吹き柵の整備がされたらいいな
- ・視覚障がい者への理解が良くない
- ・第2頭首工の橋に空き瓶、空き缶等が捨てられている
- ・災害時の避難経路がない
- ・加治川堤防の高さや幅に差があり、再び水害がおこらないように！
- ・高齢者が集まる場所がない
- ・畑が荒地になってきた
- ・成人の若者が少ない
- ・チャイムが鳴らない家がある
- ・高齢者が多くなった
- ・ごみのポイ捨て
- ・交通の便が悪い
- ・夜道が暗い



### 3 こんな地域であつたらいいな

- ・あいさつが飛び交う地域
- ・自然にあいさつがされる地域
- ・子どもの元気な声が多く聞こえる地域になつたらいいな
- ・いつも笑顔で過ごせたらいいな
- ・簡単に集まれる場所があつたらいいな
- ・軽い運動が出来る場所が近くに欲しい
- ・世代間の区別なく暮らせるコミュニティにしたい
- ・分かち合える地域
- ・高齢者が安心して暮らせる地域
- ・いつまでも元気で長生きできる地域
- ・健康長寿と言われる地域
- ・運動をして健康な人を増やすことを考えよう!!
- ・公共交通（バス）が便利になると良い
- ・買い物などに行くのに便利な交通機関を整備して、市役所等もっと親しみやすい場所となつてほしい
- ・若者が安心して働ける環境があればいい
- ・若者の交流できる場所があつたら良い
- ・高齢者が免許返納しても安心できる地域
- ・高齢者も若者も集まれる場所があるとよい
- ・話し合いの場（場所）があるといい
- ・コミュニティバスが走ってほしい
- ・地域の発展に尽くせる人が育つ地域
- ・地域活動に積極的に参加する地域
- ・協力的で仲良く暮らせる地域
- ・働き場所の多い地域
- ・子ども達の元気な遊び声が聞こえる地域
- ・子どもがたくさんいる地域
- ・笑い声が絶えない地域



- ・農村の後継者が確保される地域
- ・防災組織を全自治会に
- ・災害のない明るい地域であつてほしい
- ・災害に強い地域
- ・地元施設が利用できるよくなつてほしい
- ・里山の整備
- ・自然と共生できる地域
- ・現状を維持したい
- ・通学路に歩道があればいいな
- ・さりげなく見守りあえる地域
- ・小さい集落での子どもの遊び場所、ミニ公園がほしい
- ・お年寄り…まだまだ何でもできます、力を借りましょう
- ・高齢者、子ども達関係なく、顔見知りであるといい
- ・加治川地区にもコミュニティバスがほしい
- ・小路まで消雪パイプが設置されたらいいな
- ・加治川地区にデマンドタクシーを
- ・災害の時に即、助け合える地域になれたらいいな
- ・若い人が多くなれば良い
- ・外国人もきてくれる地域であれば良い
- ・小中学生が福祉に関心を強く持ち、末は介護人材になつてほしい





- ・認知症について、住民が正しく理解し、家族が気兼ねなく頼れる地域
- ・デマンドタクシーの整備、高齢者に足を！
- ・子育てしやすい地域であつたら良いと思います
- ・皆が助け合える地域であれば良い
- ・良い里山であればうれしい
- ・防災無線がある地域、新発田市全体にほしい
- ・災害時、地域の会社や工場を避難場所として使用できたらいいな
- ・若者が地元で勤められたら良い
- ・加治川第2頭首工に入る災害情報を、周辺地域に有線で流れるようにしてほしい
- ・みんなに“よめさん”がきてくれたらいいな
- ・高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域
- ・地域の特産物が有つたら良い
- ・独身が多いので、婚活できるイベントがあれば
- ・一人暮らし（男女）が多くなり、集落に関わりたくない思想（考え方）が起こりつつある
- ・退職者が積極的に地域に関わってほしい
- ・地区毎にカラー（特色）を持ち、特産品に取り組んで、アピールをしていけたらいいな
- ・地域の高齢者が近くの施設に入れたら良い
- ・若者にたくさん住んで頂きたい！
- ・集会所を新しくして頂きたい
- ・独身者が少なくなつたら良い
- ・働く場所が近くにあれば良い
- ・買物、通院を手伝ってくれる人がいたら良い
- ・誰でも安心、安全に歩ける
- ・いつでも声をかけあえる



## 4 私たちにできること

- ・朝夕の見守り
- ・明日は我が身、見守り活動をする
- ・隣近所と声かけ運動
- ・60代、70代は役員を！ぜひ
- ・スポーツ（対抗戦）による人づくり
- ・思っていることなどを声に出して、他者に分かってもらうこと
- ・農業生産組合と集落自治会と一緒に作業をする（花壇作り、草取りなど）
- ・地域で子ども達をほめる、叱る
- ・犬の散歩などマナーを守る
- ・集会所の開放
- ・忘れん・転ばん塾を始めた！！
- ・ごみ出しのマナーを守る
- ・あいさつ、声かけをする
- ・おせっかい
- ・隣人を頼る
- ・高齢者訪問をしている
- ・高齢者の人達への見廻り
- ・隣人の把握
- ・子ども達に声をかける
- ・声かけや気配りをしていく
- ・民生委員、防災会の立場から地域の見守り
- ・困っている人へのお手伝い
- ・地域活動に積極的に参加する
- ・物質面、心の面などで助け合つて暮らす
- ・安心・安全で暮らしやすくする
- ・住宅周辺の環境を良くする
- ・次世代の育成に向けた心構えで活動していく
- ・高齢者（一人暮らし）への見守り、話し相手をする
- ・自治会の役員は、担当の世帯や弱者に対して、常に気を配る（風潮を作っていく）
- ・夏休み中、ラジオ体操の参加
- ・子ども達に地域で昔話を教える
- ・子ども会等のボランティア、お手伝い
- ・集落事業に参加
- ・子ども達（低学年）へのあいさつ運動をしている
- ・行事にできるだけ参加し、つながりを深める
- ・行政相談を活用する

- ・花見を行う
- ・歴史勉強会を実施しコミュニケーションアップ
- ・認知症について、小中学校で教育をする
- ・人のためになることを1つでもやる
- ・高齢者や障がい者にも出来る事はやる
- ・個人の力を引き出すこと
- ・高齢者施設では求人をしているので、若い地元の人を採用する
- ・高齢者の65歳一人暮らし、75歳二人暮らしが安心して生活できるようにしたい
- ・良いことをおこなった人を表彰する
- ・小中学生の見守りをしっかりやる
- ・飲み会を定期的に行う
- ・地域に出向き、認知症の勉強会を開催する
- ・加治川集落の堤防散策をおこない、見守りができる慣習をつくる
- ・地域の見まわりを誰でも出来るようにする
- ・訪問の時に子どもの見守り
- ・不審者やお年寄りに目配りできるように、やっていきたい
- ・自然環境に配慮する生活をする事
- ・児童の登校の待合室を作って大変良かった、喜ばれている
- ・周りを気に掛けながら通る
- ・回覧板は手渡しで、声かけする
- ・見守り、助け合い
- ・ボランティアへの参加
- ・高齢者に声かけ
- ・若者との関係づくりを大切にする
- ・勉強会を開催して参加する
- ・近隣の施設や相談場所を知っておく
- ・何かあったら相談する





## 6 参考資料

### 「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系

#### 1 基本理念

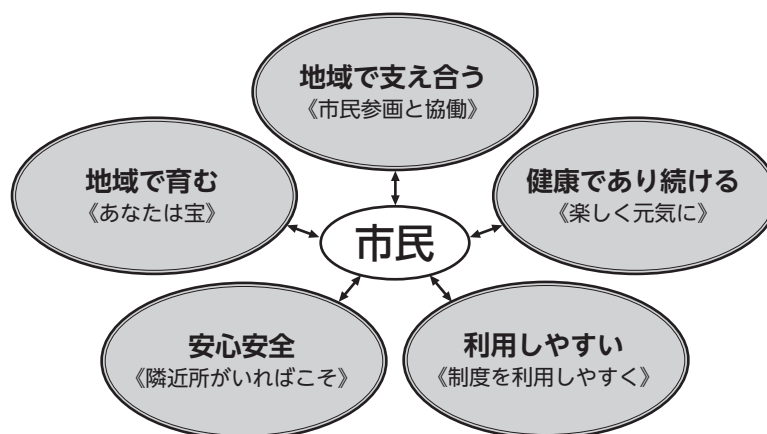
新発田市に暮らす子どもや若者から高齢者までの誰もが、新発田市の歴史と風土を大切に、新発田市民であることを誇りに思う新たな福祉の地域づくりをめざし、新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念を次のものとします。

### ～新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念～

すべての市民が住みなれた地域でともに支え合い  
安心して暮らせる福祉の地域づくり

※「出来るものならば、ずっと育ってきた地域で自立して生きていきたい。」だれもが望む幸せとは、このような当たり前のことではないでしょうか。

地域福祉（活動）計画は、顔の見える一定の地域を面として、「地域の市民力」「地域の資源力」「行政力」という3つの力を活かし、地域に住んでいる住民や地域で活動している民間団体や事業所が、社会生活を送るうえでお互いに支え合うというわかりやすい仕組みを、行政との協働により住民自ら創り、自ら地域の実態に即した活動を展開するためのものです。そのためには、「地域のことは地域で」（下図参照）を基本として、地域に暮らすだれもが笑顔に包まれ、自分らしく健康で自立した生活を送り、生きること喜びを見出していける地域社会の実現を目指します。



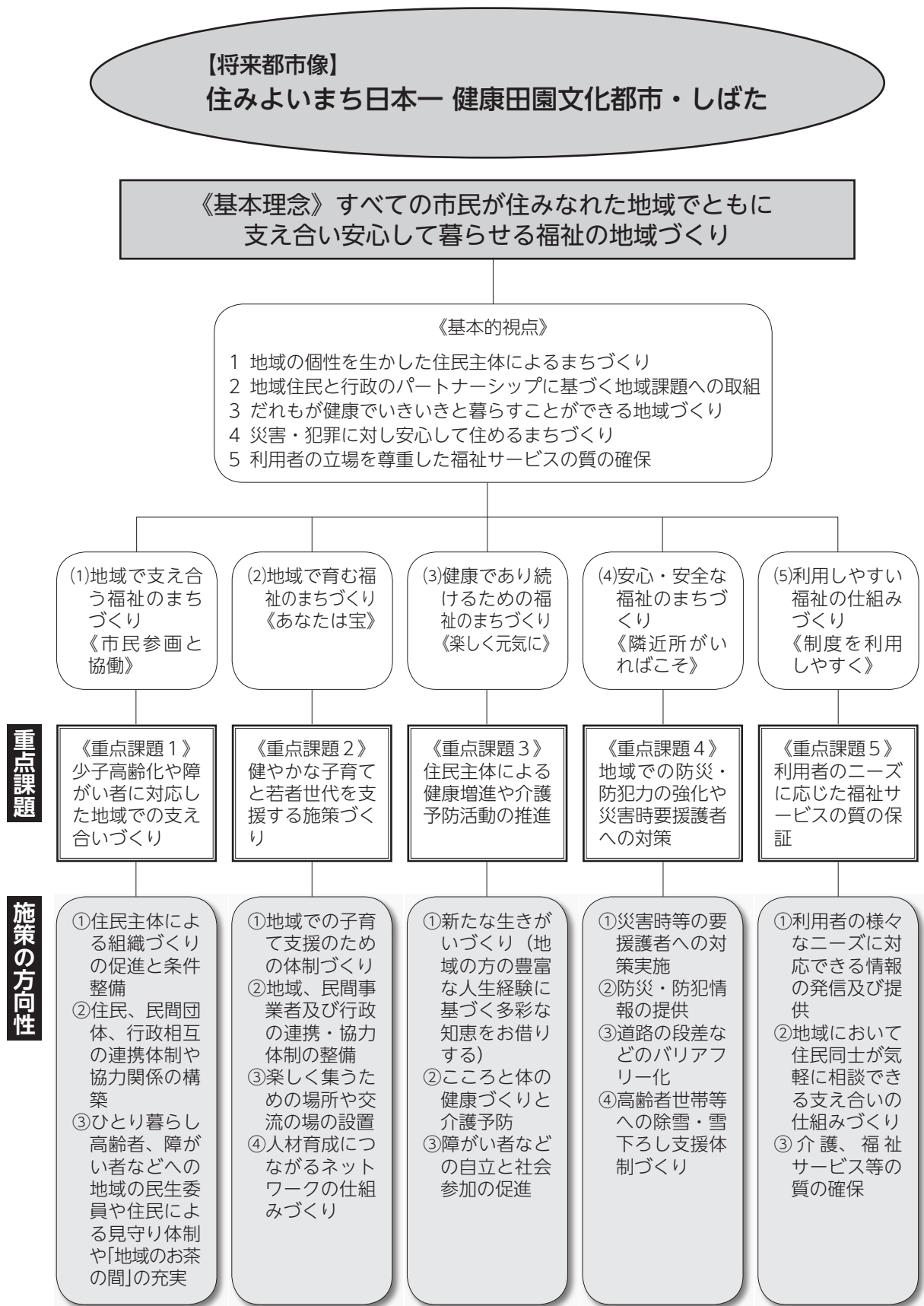
新発田市地域福祉（活動）計画は、地域福祉をより効果的に推進するため、市が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が住民とともに策定する「地域福祉活動計画」を一体化して策定したものです。新発田市及び新発田市社会福祉協議会のホームページに掲載されております。

問合せ先：新発田市社会福祉課  
Tel 22-3030

新発田市社会福祉協議会  
Tel 23-1000

## 2 計画の体系

新発田市は、以下の基本理念に基づき、それぞれの重点課題について、施策を実施しながら計画の推進に取り組んでいきます。



### 誰もが住み慣れた 地域で安心して生活 を送るために

地域の人と人とのつながりを大切に  
し、お互いに助けたり助けられたりす  
る関係やその仕組みづくりを目指して



### 第1回 加治川地区福祉懇談会

日程 平成28年10月28日(金)  
会場 加治川支所  
参加者 住民31人  
市・社協・包括15人

- ①開会挨拶  
加治川地域振興協議会 竹内会長
- ②趣旨説明  
新発田市 社会福祉課
- ③勉強会  
新発田市社会福祉協議会
- ④グループワーク  
「魅力あふれる加治川地区を目指して」
- ⑤閉会挨拶  
加治川地域振興協議会 船山副会長

### 福祉活動計画の理解を深め より顔の見える関係に

これからのまちづくりは、子どもから高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせるような仕組みをつくり、それを持続させていくことが求められています。そのためには、さまざまな生活課題について住民一人ひとりの努力（自助）、住民同士の相互扶助（共助）、公的な制度（公助）の連携によって解決してい

こうとする取り組みが必要です。加治川地区福祉懇談会では、住民や関係団体、社会福祉協議会、行政が、福祉懇談会を通じて、地域の良いところや課題などを共有しながら、住民の行動計画である「加治川地区福祉活動計画」の策定を目指しています。

# 加治川地区福祉懇談会

## 回覧

第2号 | 平成28年12月15日

地域のすべての人が  
自分らしく安心して暮らして  
いける地域を目指して

互いに支え合い、一人ひとりが自分たちの  
できる事を考え、地域福祉の基本的な  
考え方に基づいて、主体的に参加・  
協働する地域に向けて



## 第2回 加治川地区福祉懇談会

日程 平成28年11月25日(金)  
会場 加治川支所  
参加者 住民28人  
市・社協・包括18人

### ①開会挨拶

加治川地域振興協議会 竹内会長

### ②グループワーク

- ・前回の振り返り及びまとめ
- ・地区の現状と課題の整理
- ・基本目標の検討
- ・グループ発表

### ③閉会挨拶

加治川地域振興協議会 船山副会長

## ほっとけないの「気づき」を 伝える仕組みづくり

核家族化や少子高齢化によって「向こう三軒両隣」のような日本の古きよき伝統文化が姿を消しつつあります。

その結果、家族や地域とのつながりのカタチが変化し、地域の伝統文化や郷土愛も薄れ、地域資源が豊かであるにも関わらず継承が困難な状況になっています。

そのため“加治川地区福祉懇談会”では、より多くの住民に

地域への関心を持ってもらい、顔の見える地域づくりを基盤に「気づき」を伝える仕組みを目指します。

第2回懇談会では、グループごとに第1回懇談会で話し合われた4つのテーマ(地域の魅力・地域課題・これからの地域像・これから取り組めること)の内容を振り返りながら意見などを整理し、会場全体で共有しました。

### 地域のSOSを 見逃さない つながりのある 地域をつくる

地域のつながりを実感できるように身近な地域で福祉活動を活性化し、新しい地域づくりを目指します



### 第3回 加治川地区福祉懇談会

日程 平成28年12月16日(金)  
会場 加治川支所  
参加者 住民24人  
市・社協・包括15人

#### ①開会挨拶

加治川地域振興協議会 竹内会長

#### ②グループワーク

- ・前回の振り返り及びまとめ
- ・基本目標の検討
- ・スローガンの検討
- ・グループ発表

#### ⑤閉会挨拶

加治川地域振興協議会 船山副会長

## これからの地域を話し合い

### 誰もが参加できる取り組みを目指して

ご近所の助け合いによって支えられてきた人々の暮らしが、生活の孤立化、複合的な課題を抱える世帯の増加、地域での連帯感の希薄化などが進み、制度の谷間であって対応できない課題も多く生じてきています。

“加治川地区福祉懇談会”では、地域の住民が主体となって地域での支え合いを図り、より一層の地域福祉活動の活性化を目指すことで、住み慣れた地域

でこれまでの社会関係を維持しながら、誰もが生きがいを持ち、一人ひとりが役割を発揮する地域づくりに向けて力を合わせる必要があります。

第3回福祉懇談会では、第2回のグループワークで話し合われた内容を振り返りながら、整理したキーワードをもとに、加治川地区福祉活動計画の基本目標やスローガンを検討しました。

加治川地区編集委員		
No.	所 属	氏 名
1	加治川地域振興協議会	竹内 敬一
2	加治川地域振興協議会	船山 隆
3	加治川地域振興協議会	小島 忍
4	加治川地域振興協議会	田中 良一
5	加治川地域振興協議会	渋谷 恒正
6	加治川地域振興協議会	曾我 昭博
7	加治川地区青少年健全育成協議会	須藤熊太郎
8	加治川地区民生委員児童委員協議会	小島 静男
9	加治川地区民生委員児童委員協議会	吉田 忠穂
10	加治川地区民生委員児童委員協議会	高橋 秀治
11	加治川地区民生委員児童委員協議会	古澤 栄子
12	加治川地区民生委員児童委員協議会	近 信子
13	加治川地区民生委員児童委員協議会	大川原さとみ
14	加治川地区民生委員児童委員協議会	加藤 俊郎

～ みんなでつながる福祉のまちづくり ～

編 集：加治川地区編集委員会・加治川地域振興協議会  
新発田市・社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

発 行：平成 29 年 3 月

新発田市

〒 957 - 8686 新発田市中心 3 丁目 3 番 3 号

社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

〒 957 - 0054 新発田市本町 4 丁目 16 番 83 号

# 便利帳

## 高齢者・障がいに関すること

内 容	問合せ先	電話番号
高齢者全般及び介護保険制度に関すること	新発田北地域包括支援センター（加治川地区担当）	41-4646
	新発田市 高齢福祉課	22-3030（代表）
後期高齢者医療制度に関すること	新発田市 保険年金課	28-9312
障がい全般に関すること	緑風園相談室	26-8822
	こころの相談支援ウイング	28-3355
	新発田市 社会福祉課	28-9223
障がい者の就業・生活に関すること	障がい者就業・生活支援センターアシスト	23-1987
成年後見制度に関すること	新発田市成年後見センター	20-8988
	新発田市 高齢福祉課・社会福祉課	22-3030（代表）

## 子どもに関すること

内 容	問合せ先	電話番号
児童や子育て全般に関すること	新発田市 こども課	22-3030（代表）
	新発田児童相談所	26-9131
小学校	加治川小学校	33-3999
中学校	加治川中学校	33-2214

## 健康に関すること

内 容	問合せ先	電話番号
休日・夜間の急病に関すること	新発田地区救急診療所	23-8350
健康全般に関すること	新発田市 健康推進課	22-3030（代表）
心の健康や悩みの相談に関すること	新発田市 健康推進課	28-9213
	新発田保健所	26-9133
	こころの相談支援ウイング	28-3355

## その他

内 容	問合せ先	電話番号
加治川地域の自治推進、諸証明に関すること	加治川庁舎 加治川支所	33-3102
仕事や生活の困りごとに関すること	新発田市 社会福祉課	28-9221
生活保護に関すること		
生活福祉資金に関すること	新発田市社会福祉協議会	23-1000
ボランティアに関すること		
ニート・ひきこもりの社会参加に関すること		
ニート・ひきこもりの就労相談に関すること	下越地域若者サポートステーション	28-8735
地域の活動交流施設	加治川コミュニティセンター	33-2130
地域の社会教育施設	加治川地区公民館	33-2433
地域の治安に関すること	新発田警察署 金塚駐在所	33-2445
	新発田警察署 古川駐在所	26-0825